

キャリアの第1段階

投稿日：2014年6月13日 | カテゴリー：看護部ブログ

先日、某大学の3年生を対象とした授業で、キャリア論について話す機会がありました。

キャリアの1段階目は「成長と空想と探索をする」（自分はどんな職業につきたいかを考える時期）

キャリアの2段階目は「教育と訓練を受ける」

キャリアの3段階目は「仕事生活に入る」

と10段階目まで続きますが、

「看護大学に進学をした皆さんは、すでにキャリアの2段階目に進んでいます」という言葉が多くの学生さんの心に留まったようで感想文に沢山コメントがありました。大学が増えだした頃から、看護学部に進学しておきながら「看護師になるかどうか分からない」という学生が増えているのです。それは、学生の実習に対する姿勢にも影響しますし、学びにも影響しますので、是非とも看護師になるという自覚（＝自分で覚悟をする）をしていただきたかったので、お話できて良かったと思います。

さて、今日は、キャリアの1段階目のお話です。先ほど、スキルラボ室に物品を届けてくださった委託業者の方が、一旦お部屋を出た後に戻って来られました。

「私の娘が看護大学の2年生なのです。その娘は、数年前にこちら（旧の三木市民病院）で『看護体験』をさせていただいた事があるのです。その時に、『今から勉強すれば十分間に合うから、大学に行きなさい』と言ってくださった方がいたんです。それから、娘は見違えるように勉強をするようになり、大学に入ることが出来ましたので、ずっと感謝をしていました。どなたにお礼を言えばいいのかとずっと思っていました。」

とお話されました。身に覚えがあります。お母様にとっては「大学に入った」ことが喜びだったと思います。私としては「看護体験に来られた方が看護師になるために頑張っている」ということが嬉しかったのです。共に働ける日を楽しみに待ちたいと思います。

ウィリアムソン 彰子（教育専任次長）